

USA 学校 DANCE部フェスティバル 2020 演技規定



USA
unitedspiritassociation
A VARSITY BRAND

項目	内 容
ソーシャルディスタンス フォーメーション移動など	<p>① 選手同士は2m以上の距離間を保ち演技を行うこと</p> <p>② フォーメーションチェンジは、ソーシャルディスタンスを保った状態（選手同士の間隔が2m程度が目安）でのみ実施可能</p> <p>③ 選手同士の接触（パートナリング、リフト等）や至近距離での対面は不可</p> <p>④ 演技中及び、演技の前後にカウントや掛け声をかけることは禁止</p>
演技内容	<p>振付・演出・使用楽曲など、演技はすべての観客のために適切かつエンターテイメント性に富んでなければならない</p> <p>下記の内容に該当する、構成や振付は禁止とする</p> <p>① 振り付けにおいて紛争や抗争をイメージさせる内容</p> <p>② 人を威嚇するジェスチャー</p> <p>③ 不快感を与える演出やメイクアップ</p> <p>④ 不適切な歌詞やスラングの入った楽曲 ※使用楽曲は事前に歌詞内容・訳詞内容が適切であるか確認をすること</p> <p>⑤ 違法ダウンロードによる楽曲（音楽プロバイダーのサンプル楽曲含む）</p>
衣装	<p>① 全ての衣装は安全でなければならない</p> <p>② 衣装・メイクアップは、年齢に相応で全ての観客に対し適切であること</p> <p>③ 靴下・タイツのみ、または床を傷つける恐れがある履物は禁止</p>
手具・道具	<p>Pomの使用は不可。それ以外の使用は自由とするが、人を傷付ける恐れのある手具・道具は使用不可。</p> <p>また、複数の選手で手具や道具を共有することは禁止(手具の交換など)</p>
セーフティ	<p>① 安全性を考慮していない危険な行為は禁止</p> <p>② 怪我等の事情で、硬く曲がらない・表面に凹凸があるギブス・コルセットなどをする際は適切な素材でカバーすること</p> <p>③ 手に全体重をあずける動作は、何も持っていない状態で実施しなければならない（例外：前転・後転）</p> <p>④ 立位・逆さの体勢やターンから、膝・腿・座位・うつぶせ・仰向け・スプリットポジションの姿勢になる場合は、少なくとも片手または片足に先に体重が乗るように行うこと</p> <p>⑤ ジャンプ・空中から演技フロアへ着地する場合は、少なくとも片足に先に体重が乗るように行うこと</p> <p>但し、ジャンプ・空中に浮いた際の手の位置が腰レベルより下の場合に限り、手（片手含む）からの着地が可能。後方への進入は不可。（ダブルシフトは実施可。シュシュノバのバリエーションは全て禁止）</p>
タンブリング 個人で実施するもの	<p>タンブリング（アクロバティック、体操的な技。フロア上から始まりフロア上で終わる個人で行えるもの）は、<u>実施できるが推奨されない</u></p> <p><有効技>に限り実施可（以下①～③を遵守しなければならない）</p> <p>① 静止・歩行から実施可（走り込み・飛び込みからは不可 ※例外：ロンダート）</p> <p>② タンブリングは単発・コンビネーションとともに実施可</p> <p>③ タンブリングをしている選手の上や下を、タンブリングしながら通過・越えることは禁止</p> <p><有効技> 前転、後転、ショルダーロール、側転、チェストロールダウン、倒立、頭支持倒立、立ちブリッジ、前方/後方転回 ロンダート、キップアップ、ストール、ウインドミル、マカコ、スワイプス、トマスフレア、側方宙返り※大学生のみ実施可</p> <p>※有効技については【補足】①参照</p> <p>※有効技は片手での実施も可</p> <p>※手具を持った手に全体重をあずける動作は、セーフティ違反になるので注意（前転・後転は持ったまま実施可）</p> <p><禁止技> 上記以外全て ※【補足】②参照</p>

【 補 足 】

① 有効技についての 【キップアップ】 仰向けから膝を曲げ、少し後ろに転んでから脚の反動で立ち上がる技（跳ね起き・ラバーハンドともいう）

解説

【ストール】 両手・片手で体を支えつつ、動きを停止するヒップホップ技（フリーズ）

【ウインドミル】 背中と胸を使って回転し、体の周りをV字にした脚を旋回させる技

【マカコ】 しゃがんだ状態から片手で行う、後方転回（アラビアンともいう）

【スワイプス】 手を付くと同時に下半身をひねり、腰が宙に浮いた状態で旋回する技

【トマスフレア】両手で全身を支えながら両足を大きく開き、体を宙に浮かせながら旋回させる技

② タンブリング

有効技以外の全てのアクロバティック・体操的な技

禁止技

<例> 前方・後方倒立回転跳び、前方・後方宙返り、飛び込み前転、ヘッドスプリング、側方宙返り（大学生は実施可）など